

タイトル 「美しく書くこと ―美文字を求めて―」

講演者 横浜国立大学教育学部  
教授 青山 浩之 氏

日頃書作家としては大きな文字を 1 字か 2 字を  
発表しています。一般的に小字数というジャンル  
で活動しています。そして、硬筆、ペンで文字を  
美しく書くことの大切さをより多くの方に理解し  
ていただきたいと考えています。



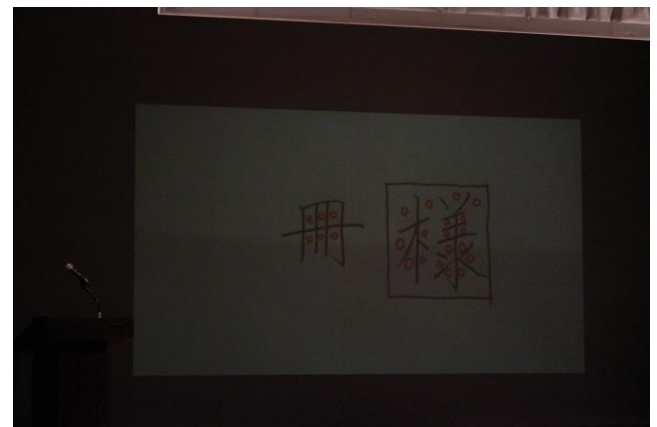
「美しい文字はあなたの人生を輝かせます」こ  
のようにペンで美しく書くことが、その人らしさ  
を表し、心のこもった優しささえも伝わってくる  
のです。日々の生活の中で、職場や学校の資料に  
おいても、活字に頼ってしまいがちではありますが  
、手書き文字の良さに触れ、その人を感じるこ  
とも大切ではないかと日頃から考えています。



横浜国大の学生は主に将来小学校の先生を目指  
している生徒が多く在籍しています。卒業後教壇  
に立った時に生徒に手書き文字の良さを伝えられ  
るようになって欲しいと願っているのです。言葉  
を大切にすると同時に文字も大切にすることがど

れほど重要なのかは分かっているはずだと思いま  
す。しかし人前で字を書くのは恥ずかしい、でき  
れば書きたくないという学生も大人も多いのが現  
実です。全国的な手書きのアンケート調査では年  
齢の高い方より、20歳代の若い層の方が手書き  
文字で伝えたいというデータもあります。

一時期マスメディアが作った美文字ブームの  
中、その追い風に乗り様々な番組に審査員として  
出演させて頂きました。NHK のためしてガッテン  
では短時間で美文字に近づく方法として「すきま  
均等法」を取り入れ実験を披露しました。その実  
例もご覧いただけます。



文字の形は、イメージした造形が指先を通し  
て、ほぼ同じ形の文字を書くことが分かっています。  
つまり美しい文字の形をイメージしてそのイ  
メージを維持することが重要であると考えられる  
のです。美文字の美しさを維持するためにやはり  
練習が重要となってきます。

これからの生活の中で少しでも文字を美しく書  
くことを心掛け、その人格や優しさを残しつつ、  
文字を書く行為を大切にしたいと願っています。